

## ★ 操 作 方 法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

名作学習映画

海の怪物!

# 大がいの龍撃手

■ベルヌ原作『海底2万マイル』より



かたおか徹治

いまから約百十年前  
世界の海をまたに  
かける「怪物」が  
いた

この「怪物」は  
クジラの十倍もあり、  
おそろしいスピードで  
商船や軍艦を  
おどろかせた

「怪物」の正体を  
さぐるため、  
アメリカの軍艦に  
のりこんだ  
アメリカの科学者  
であるワタシ……  
アロナックスは、

「怪物」と戦って  
いるうちに、助手の  
コンセーユともりうちの  
ネットとともに  
「怪物」にとらえられて  
しまったのだ

うわーっ  
なんだ  
あれは!!



■この物語が書かれたころは、まだ潜水艦は考えられていませんでした。

その「怪物」は、  
じつは大科学者の  
「ネモ船長」が  
つくった潜水艦  
「ノーチラス号」で  
あった

■ 1マイル ⇨ やく 1600メートル。





ああ  
招待して  
くれたよ

船長が  
ワタシたちを  
真珠とりに？

エエツ？

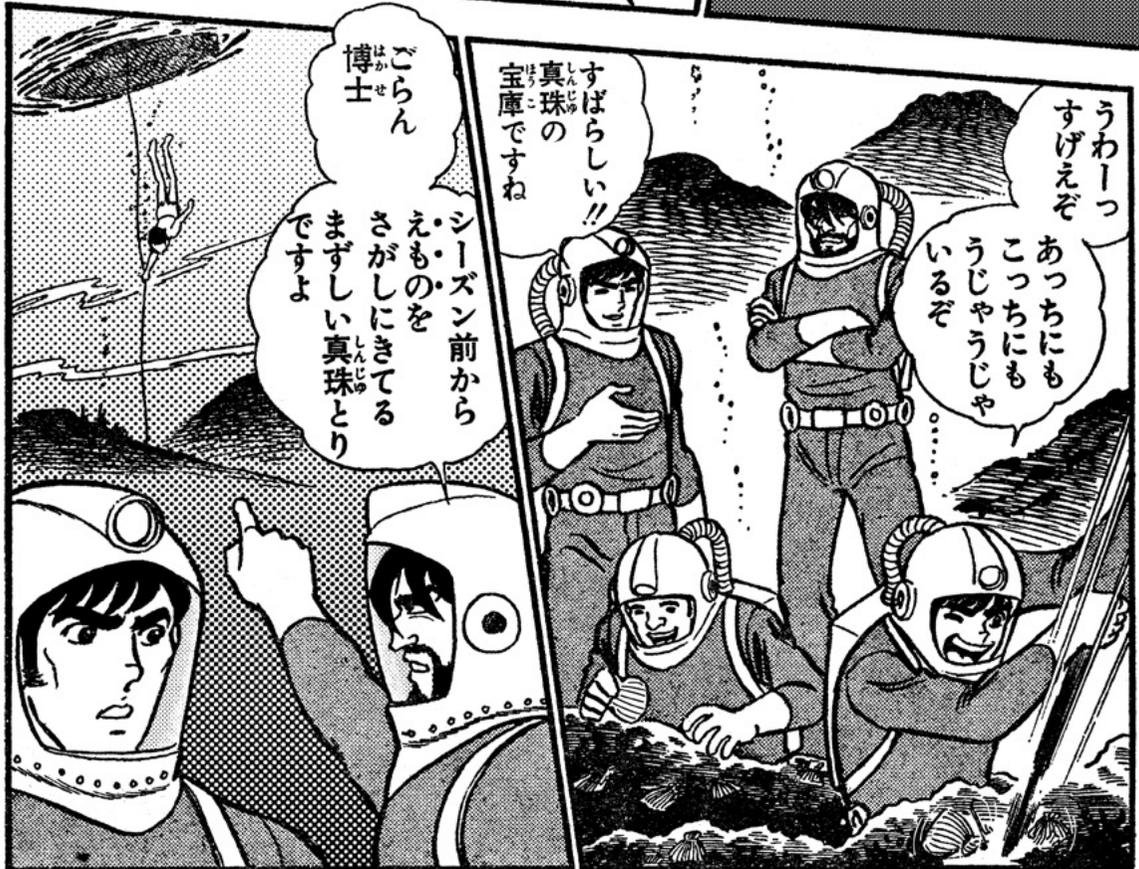
ベンガル湾

インド

セイロン島

そいつは  
いいや

ここんとこ  
たいくつで  
うんざりだっ  
たんだ



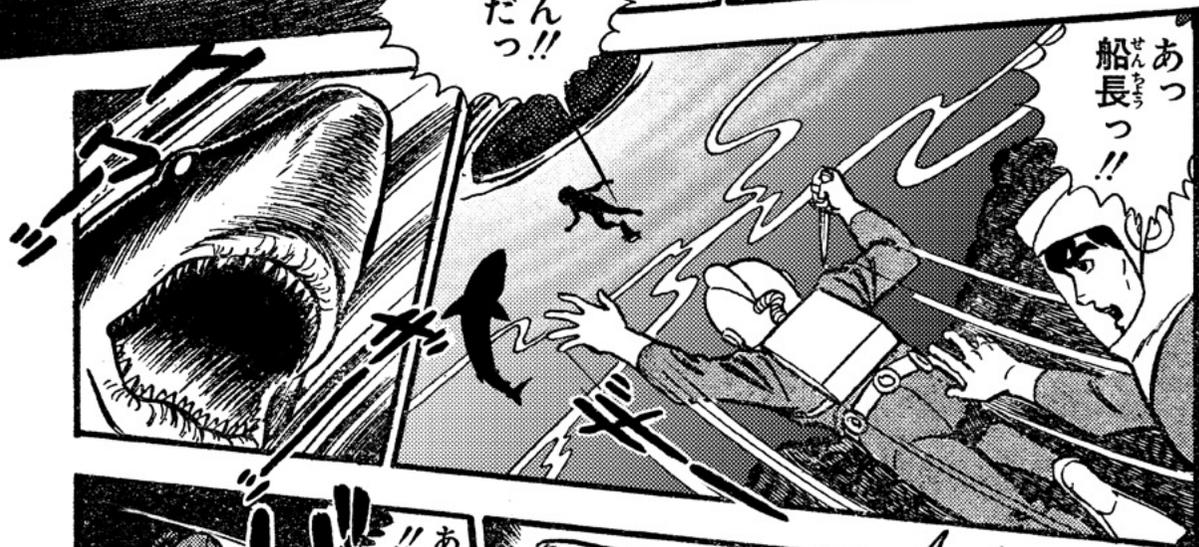
うわーっ  
すげえぞ

あっちにも  
こっちにも  
うじゃうじゃ  
いるぞ

すばらしい!!  
真珠の  
宝庫ですね

ごらん  
博士

シーズン前  
から  
えものを  
さがしにきてる  
まずしい真珠と  
りですよ





ありがとうございます  
ネットくん

よかった  
まだ生きて  
いるぞ

なあに  
いままで  
世話になっ  
た  
おかし  
でさあ



人類を  
にくみきつて  
いる  
はずの  
船長が  
なぜこの男を...

かれは、  
すべての人類を  
にくんでいたわけじゃ  
なかったのか?



この男は  
いつもいじめられ  
つづけている  
国の  
人間なのですよ



あと数分も  
したら  
目がさめる  
だろう...

あ~~~~あ  
いままでとった  
のぜんぶやっち  
やうのかい?



このあとワタシたちは  
 「まぼろしの大陸」  
 「アトランティス」や  
 「クジラとマッコウクジラ  
 の戦い」を見たり  
 「南極大陸いちばん乗り」を  
 して、こんどは北へ北へと  
 進路をかえた――

## かたおか徹治 初期作品

「ネット版・新つれづれ草」にて配信中！



大西洋

メキシコ湾

南アメリカ

先生

ワタシたちが捕虜になつてから、どのくらいになるんでしよう？

五か月……イヤ……もう半年になるかな……



ああっ!! もうイヤだ!!

気がくるいそうだっ!!

うわーっ!!

おおっ!!



ズズズズ

ずいぶん外がさわがしいな

なんだいまのゆれは!?

大ダゴがスクリューにからみつきました

ワタシたちも、お手伝いを!!

これから浮上して退治します

ありがとうございます みなさんでは オノをもつてついできてください

よしー オレもいくぜっ!!





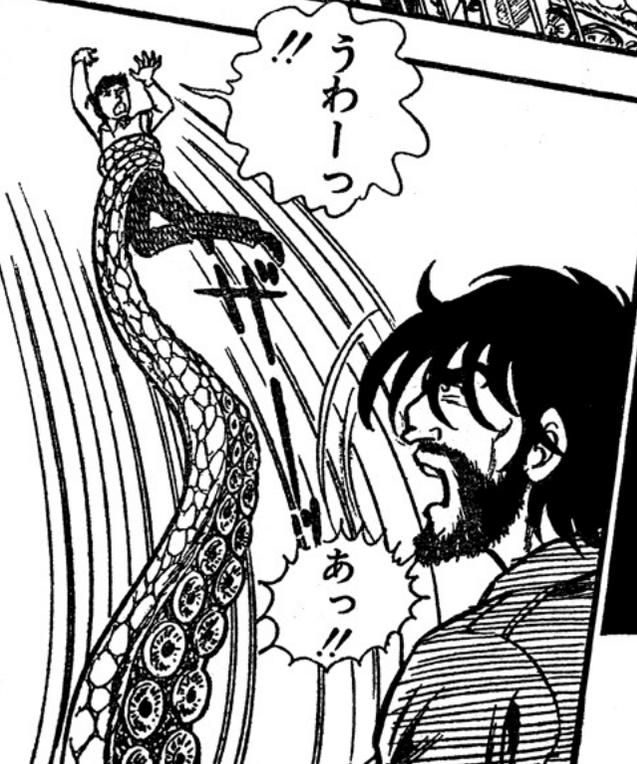
ヒエ〜ッ  
なんて  
デカイんだ

みんな  
気を  
つけろ

こりゃあ  
時間が  
かかるぞ

クッ  
クッ  
クッ

クッ  
クッ  
クッ



うわーッ  
!!

あッ!!



?

クッ  
クッ  
クッ







ネッド  
ふせるんだ

ウわー!!  
!!



なあに  
いつかの  
おかえしさ

た  
た  
す  
か  
つ  
た  
ぜ

ギエーッ!!



こうして  
ワタシたちの  
旅は、なおも  
北へと続く

ネモ船長た  
ちのにくしみ  
とはいったい  
…!!?

そして  
ノーチラス号が  
作られた目的  
とは…!!?

ワタシたち三人が  
この旅をおえるのは  
たぶんそれがわかった  
時であるような  
気がする…

ワタシたちが  
航海を  
はじめてから  
すでに  
一万七千マイル

この旅は、まだつづくのだった…。

(おわり)

### 『空想科学小説』の父

ジュール・ベルヌ(フランス)

この名作学習劇画のもとになっている「海底2万マイル」を、ベルヌが書いたのは一八七〇年(ベルヌが42才のとき)です。じつさいの潜水艦が作られたのは、それより四、五十年あとのことですから、ベルヌの空想力(というより科学力)はすごいものです。

物語の中に出てくるノーチラス号はアメリカの原子力潜水艦の中にもありますが、これはネモ船長のノーチラス号にちなんでつけられた名まえです。

ベルヌはこの物語でアカデミー賞を受けましたが、このほか、ベルヌの作品の中には、『月世界旅行』『十五少年漂流記』など、



みなさんに  
読んでほし  
いものが、  
あります。



## かたおか徹治の作品ノート 『海の怪物!! 大ダコの襲撃』

本作『海の怪物!! 大ダコの襲撃』は、14ページの読み切りで（1978年旺文社発行の「小四時代」7月号で発表した物です。

『火星人の襲来』（1978年旺文社発行「小四時代」5月号掲載）に続き、ディズニー映画にもなったベルヌ原作の「海底2万マイル」のダイジェスト版コミカライズです。

大ダコの脅威を最大限に表現するのに神経を注ぎました。

そしてこの後、いよいよ『ウルトラ兄弟物語』（小学館発行「コロコロコミック」掲載）へと続く直前の思い出深い作品です。

